

④国民健康保険税の基盤強化(増加指標：増額の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
国民健康保険税収入の増収	未達成	33億 5,100万円	27億 5,600万円	△5億 9,500万円	税率の見直しによる増収はあったものの、医療制度改正に伴う75歳以上の被保険者の後期高齢者医療制度への移行額が見込みより大きかったことから、目標額に比べ5億9,500万円減収となりましたが、前期高齢者の医療費に係る交付金などにより対応しました。

⑤下水道使用料の見直し(増加指標：増額の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
下水道使用料収入の増収	未達成	13億 4,400万円	12億 5,200万円	△9,200万円	景気低迷による大口使用者の未納増加や使用量の減少、また節水意識が向上したことなどから、目標額に比べ9,200万円減収となりましたが、業務の効率化や合理化による職員人件費の削減などにより対応しました。今後も納付指導の強化や未接続世帯への接続斡旋(あっせん)などで普及を促進し、使用料の増収を図ります。

《歳出の抑制》

①職員人件費の抑制(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
職員人件費の削減	達成	86億 8,200万円	82億 5,600万円	△4億 2,600万円	勧奨退職制度を導入し定員適正化が進んだことなどにより、目標額に比べ4億2,600万円削減が進みました。

②公債費負担の軽減(削減指標：減額(△)の場合は達成) ※数値は平成20年度からの累計額

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
普通会計の公債費の削減	未達成	△1,900万円	△1,700万円	200万円	繰上償還時期がずれたことから、目標額に比べ200万円削減が進みませんでした。前年度分と合わせると100万円削減が進んでいます。
下水道会計の公債費の削減	達成	△5,600万円	△6,400万円	△800万円	金利が見込みより低かったことから、目標額に比べ800万円削減が進みました。

③経常経費の総額抑制(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
物件費の削減	未達成	45億 6,700万円	48億 200万円	2億 3,500万円	国庫補助を受けた教育用パソコン整備や、小中一貫教育の拡大などにより、目標額に比べ2億3,500万円削減が進みませんでした。経常的な経費(主に事務などに要する経費)については総額抑制を継続していきます。

④補助金の整理合理化(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
補助金の削減	未達成	8億600万円	8億 1,300万円	700万円	防犯灯電気料の補助率を上げたことなどにより、目標額に比べ700万円削減が進みませんでした。補助金の整理合理化方針は維持していきます。

⑤特別会計繰出金の抑制(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
国民健康保険事業の基準外繰出の削減	達成	4億 9,600万円	1億円	△3億 9,600万円	税率の見直しや医療制度改正による前期高齢者の医療費に係る交付金の増などにより、目標額に比べ3億9,600万円削減が進みました。
下水道事業の基準外繰出の削減	達成	1億 3,200万円	5,100万円	△8,100万円	対象となる建設改良費が減額となる一方で、補助対象事業の増額に伴いほかの財源が増えたことにより、目標額に比べ8,100万円削減が進みました。
自家用有償バス事業の基準外繰出の削減	未達成	1,500万円	2,300万円	800万円	財政力指数が上昇し県補助金が減額となったことにより、目標額に比べ800万円削減が進みませんでした。運行形態の見直しなどを行い、使用料の増収に努めることで繰出金の削減を図ります。
公設地方卸売市場事業の基準外繰出の削減	達成	1,100万円	1,100万円	0万円	人員体制の変更などで経費を削減したことにより、目標を達成しました。
温泉事業の基準外繰出の削減	未達成	3,800万円	4,500万円	700万円	燃料費高騰などにより、目標額に比べ700万円削減が進みませんでした。使用料の見直しを含む事業の検討を行い繰出金の削減を図ります。

財政健全化計画に関してくわしくは 財政課 財政係 ☎21-5162

お知らせします 財政健全化計画の進捗状況

平成20年2月に策定した「財政健全化計画」は、市のまちづくりに対応できる財政体質を確立するため、「歳入の確保」および「歳出の抑制」について、目標を設定し、その達成に向けて取り組むべき課題を定めたものです。

なお、計画期間は平成20年度から平成23年度までの4年間で、年度ごとに課題の進捗を公表します。今回は、平成20年度の進捗状況をお知らせします。

①一般会計
主な会計の進捗状況

物件費(賃金や委託料など)の削減などについては未達成でしたが、職員人件費や特別会計への繰入金が増減されたことや市税の収入増加が目標を上回ったことなどから、全体では健全化が進みました。

②国民健康保険事業特別会計
被保険者の一部が後期高齢者医療制度へ移行したため、国民健康保険の収入額は減額となっていますが、税率を見直したことや制度改正により交付金が増えたことなどから、一般会計繰入金が目以上に削減されており、全体では健全化が進みました。

③下水道事業特別会計
業務の効率化や合理化で職員人件費が削減されたことや制度改正により、建設事業債の償還に充てられる地方債が設けられたこと、汚水処理費用に対する公費の負担割合が変わったことなどから、一般会計繰入金は目標以上に削減されています。しかし、下水道使用料の収入増加については未達成であったことから、使用料の増収を図り健全化の推進に努めていきます。

◆各課題(実績額1千万円以上)の進捗状況については、表のとおりです。

《歳入の確保》

①税基盤の充実(増加指標：増額の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
市税収入の増収	達成	150億 300万円	151億 2,500万円	1億 2,200万円	滞納繰越分の徴収率が向上したことなどにより、目標額より1億2,200万円増収となりました。

②使用料・手数料などの滞納整理と徴収率向上(削減指標：減額(△)の場合は達成)

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
保育費扶養者負担金の滞納額の削減	未達成	1,400万円	1,440万円	40万円	転出などで訪問徴収が滞ったことなどにより、目標額に比べ40万円削減が進みませんでした。納付指導の強化などを行い滞納額削減に努めます。
市営住宅使用料の滞納額の削減	未達成	5,230万円	5,670万円	440万円	経済状況により滞納分が分割払いとなったことなどから、目標額に比べ440万円削減が進みませんでした。裁判所への支払督促申請などを行い滞納額削減に努めます。
住宅新築資金等貸付金の滞納額の削減	未達成	8,130万円	8,400万円	270万円	借受人の高齢化などにより徴収が滞ったことなどから、目標額に比べ270万円削減が進みませんでした。分割納付の指導などを行い滞納額削減に努めます。
奨学資金貸付金の滞納額の削減	達成	1,740万円	1,720万円	△20万円	電話催告や戸別訪問、連帯保証人への督促通知などの実施により、目標額に比べ20万円削減が進みました。
温泉使用料の滞納額の削減	未達成	1,030万円	1,050万円	20万円	大口使用者の滞納で現年度分の徴収が滞ったことなどから、目標額に比べ20万円削減が進みませんでした。納付指導や給湯停止などを行い滞納額削減に努めます。
下水道使用料の滞納額の削減	未達成	3億 6,930万円	4億 9,850万円	1億 2,920万円	債権整理の調査に時間を要し不納欠損処理が遅れたことなどから、目標額に比べ1億2,920万円削減が進みませんでした。納付指導の強化などを行い滞納額削減に努めます。

③未利用財産の売却処分(増加指標：増額の場合は達成) ※数値は平成20年度からの累計額

項 目	達成状況	目標額	実績額	目標額との差	目標額と実績額に差が出た理由など
市有地の売却	達成	4,200万円	7,500万円	3,300万円	処分予定地以外の土地を売却したことにより、目標額に比べ3,300万円売却が進みました。

水道事業経営健全化計画の進捗状況

平成20年3月に策定された「水道事業経営健全化計画」とは、水道事業の健全な経営を維持するとともに、老朽化する施設や設備を更新し、将来にわたり安全安心な水道の供給を維持することを目的とし、総合的な経営改善の指針としたものです。

計画期間は平成20年度から平成23年度までの4年間で、年度ごとに課題の進捗を公表します。今回は、平成20年度の進捗状況(一部抜粋)をお知らせします。なお、すべての進捗状況については、市ホームページに掲載しています。

《健全で効率的な経営》

①健全な経営基盤の確立

項目	年度目標	達成状況	達成状況の理由など
総合計画の策定	総合計画を策定	未達成	平成21年度に策定する予定です。
適正な料金水準の確立	平成23年度の料金統一へ向けて、段階的な改正を検討	達成	低料金地域の日光・足尾・栗山地域の段階的な改正を検討し、平成21年度実施に向け審議会の答申を受け条例を改正しました。
計画的な企業債発行	高金利企業債の繰上げ償還や低利な企業債への借り換えに取り組む	達成	平成20年度に削減した利子は約9,370万円でした。

②簡素で効率的な経営体制の構築

項目	年度目標	達成状況	達成状況の理由など
組織・事務事業の見直し	簡素で効率的な組織再編を検討	達成	日光と足尾水道事務所を日光足尾水道事務所に、藤原と栗山水道事務所を藤原栗山水道事務所として統合しました。また、料金徴収や施設管理の委託範囲を拡大しました。

《安全で良質な水の安定供給》

①水質の安全性確保

項目	年度目標	達成状況	達成状況の理由など
水質管理の強化	水質検査計画を作成し、結果公表を実施	達成	水質検査計画を作成し、広報紙と市ホームページ上で公表しました。検査結果は、窓口での閲覧を実施しました。

②計画的な施設の整備・更新

項目	年度目標	達成状況	達成状況の理由など
中長期的な施設整備計画の策定	旧市町村ごとの施設整備計画を統合	未達成	平成21年度に統合する予定です。
老朽管の更新	鋳鉄管や石綿セメント管など老朽管の計画的な更新を実施	達成	実施計画に合わせた更新工事を実施しました。

《自然環境の保全》

①資源リサイクルの推進

項目	年度目標	達成状況	達成状況の理由など
浄水場発生汚泥の有効活用	浄水場から発生する汚泥の有効利用や再生利用について検討	一部達成	汚泥を再生砕石などへ処分する民間業者に搬出を委託済みで、未実施浄水場についても導入を検討しています。
工事廃棄物の再利用	工事で発生する土やアスファルトの抑制や再利用の推進を検討	達成	施設工事で、廃棄物を再利用しました。

《利用者サービスの向上》

①利用者の利便性向上

項目	年度目標	達成状況	達成状況の理由など
緊急修繕体制の強化	緊急時の工事業者などとの協力体制の充実や連絡体制の確立を検討	達成	マニュアルは未作成ですが、緊急事態対応は管工事組合との連携体制を確立済みです。

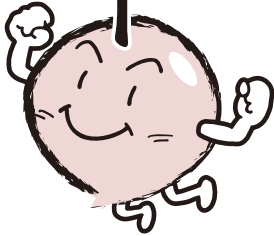
②情報公開の推進

項目	年度目標	達成状況	達成状況の理由など
広報活動の充実	水道事業の情報を、広報紙やホームページなどで公開し、浄水場見学を積極的に受け入れることを検討	達成	決算状況や水質検査状況を広報紙と市ホームページで周知しました。浄水場見学は、申し込み団体をすべて受け入れ、水道水ができる過程や水道水の重要性を理解してもらえるよう、ビデオ映像を加えて紹介しました。

水道事業経営健全化計画に関してくわしくは 水道課 水道総務係 ☎21-4532

いただきます

栄養満点！大豆パワー



2月は、節分や初午の季節です。節分といえば豆まき、初午といえしまつかれ。豆まきやしもつかれに使われているのは、皆さんもご存じの大豆です。

今回は、栄養満点の食材・大豆についてご紹介します。

大豆の優れた栄養を見直そう

今や日本は、世界の最長寿国となりました。この理由として、栄養バランスの良い「日本食」を食べてきていたことが考えられます。大豆は、タンパク質が豊富で、生活習慣病予防にも効果があるなどの優れた成分を持っており、古来から健康長寿食品として、日本人の健康を支えてきました。

しかし、現在は食生活が欧米化し、大豆製品を食べる回数も減ってきています。

◆大豆に含まれる主な成分と効能◆
イソフラボン：女性ホルモンに似た作用を持ち、更年期の症状や骨粗しょう症の抑制・改善、乳がん・子宮がんの予防効果が期待できる
大豆サポニン：血中コレステロールや中性脂肪値を下げる

レシチン：記憶力や集中力を高める
食物繊維、リノール酸、ビタミンE
：老化予防やコレステロールを排泄する効果がある

◆大豆の1日の摂取目安量◆

ゆで大豆の場合：約40g
納豆の場合：1パック(40g)
豆腐の場合：4分の1丁(100g)
豆乳の場合：コップ1杯(200g)
きな粉の場合：大さじ3杯(約20g)
「畑の肉」といわれるほど栄養満点の大豆・大豆製品を、1日1回は食事に取り入れてみましょう。

日光市のだい

市内では、昔から大豆が栽培されてきました。最近では、水田の転作物として、広大な農地に大豆が作付けされています。主にタチナガハという品種の白大豆が作られており、油揚げやみその材料に使われています。

す。

市内の大豆の作付け面積は、約190ha(東京ドーム約40個分)で、出荷量は400tを超えます。



日光産の大豆とみそ。

大豆を食べる工夫と下ごしらえ

栄養満点の大豆にも、消化が悪いという欠点があります。しかし昔の人たちは、この欠点を補った多くの加工品を考え出しました。

大豆の主な加工品は、みそや豆腐、油揚げ、がんもどき、豆乳、ゆば、納豆、豆もやし、凍り豆腐など。これらの食品に加工することで、消化良く摂取できるようになりました。

サラダや和え物にゆで大豆やゆばを加えたり、カレーやシチューに豆乳を加えるなど、ひと工夫するとさらに大豆が食べやすくなります。

- ◆おいしく食べるための下ごしらえ◆
①大豆をきれいに水洗いする。
②大豆の量の4〜5倍の水に一晩つけておく。
③つけ水のままゆでる。
※圧力鍋なら短時間でゆでられます。

朝食は、大豆食品とご飯のツートップで！

大豆のタンパク質に含まれる必須アミノ酸(体内で作ることのできないアミノ酸)には、細胞を成長させる効果などのあるリジンが多く含まれ、記憶低下を防ぐ効果などのあるメチオニンはあまり含まれていません。逆に、ご飯にはメチオニンが多く含まれているので、ご飯と一緒に納豆やみそ汁などを食べることで、バランスよく栄養を摂取できます。野菜類も摂取すれば、さらにバランスが良くなります。

皆さんも、大豆とご飯を中心とした、健康的な「日本食」を、もう一度見直してみませんか。

親子で楽しむ味噌づくり講座
参加者募集中！
講座の詳細については、情報ナビ(27ページ)をご覧ください。

くわしくは

農林課 農政係 ☎(21)51771

知識 初午とは、2月最初の午の日です。初午に作るしもつかれには、節分で残った大豆を使います。今年の初午は節分より前のため、豆を入れない地域や二の午(2回目の午の日)に作る地域、旧暦の初午に作る地域とさまざまです。